

令和3年度 基本評価調書①			所管部局	保健福祉部	所管課	地域保健課、感染症対策課 障がい者保健福祉課	
施策名	健康づくりの推進				施策コード	04071	
政策体系(中項目)	安心で質の高い医療・福祉サービスの強化				政策体系コード	1(2)C	
知事公約	C0042 C0044 C0053	総合戦略	A2217 A2236 A2242 A2243	国土強靱化	B2312 B2313	事務事業数	95
SDGs				総合判定	概ね順調		

【1 Plan】

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防や発生時に適切に対応するための体制を整備する。 ・全国に比して死亡率が高いがん対策や生活習慣病の予防など道民の生涯を通じた健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を目指す。 					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入院を要する患者の増大に対応するため、基準病床数の確保に努めることが必要。 ・R1年度のワクチン接種率(第2期)は麻しん、風しんともに国の指針に達せず、全国値よりも低い。 ・北海道のがんによる死亡率や肥満者の割合、成人喫煙率は、全国に比べ高い。 					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症病床確保のため財政措置の充実を図ることを国に要望 ・麻しん風疹のワクチン接種を推奨し、感染症(疑い)発生時には、速やかに疫学調査を実施 ・自殺対策の強化やひきこもり支援、ギャンブル等依存症対策に係る普及啓発 ・本道の特性及び地域の実情に応じたがん対策の実施や難病等に係る医療費助成の実施など 					
予算額(千円)	R3	11,559,898	R2	9,770,695	R1	10,233,420
施策のイメージ						

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	床	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標 (R5)	達成率	指標判定
感染症指定医療機関病床数	目標値		-	-	96	98	97.9%	B
	実績値		94	94	94			
設定理由	二次医療圏の人口規模等を基に国が定めた配置基準による。 北海道総合計画において、感染者に適切な医療を提供する体制整備の指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
医療機関からの相談には個別に対応し、指定基準等情報提供しているところだが、感染症病床の確保が進まない要因の一つに、施設要件を満たすための病床整備や運営に係る費用負担があげられており、基準病床数の確保のためには引き続き財政措置の充実を国に要望することが必要。								

指標名②	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標 (R5)	達成率	指標判定
予防接種法に基づく予防接種(麻しん・風疹)の接種率	目標値		95	95	95	95	96.5%	B
	実績値		93	91.6	91.7			
設定理由	特定感染症予防指針において、国が示した麻しん・風しんの定期予防接種の接種率目標による。強靱化計画において、災害時の感染症の発生・拡大防止の観点から、接種率を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
麻しん・風しんの定期接種は第1期・第2期の2回接種するが、第1期(生後12~24か月)接種率よりも第2期(5歳以上7歳未満)接種率が低くなる傾向があるので、就学前の啓発が必要。 【参考】R元 第1期: 93.5 第2期: 91.6 R2 第1期: 99.1 第2期: 91.7								

指標名③	増加	歳	H22年度	H25年度	H28年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
健康寿命(男性・女性)(暦年)	目標値		延伸	延伸	延伸	延伸	-	-
	実績値		70.03・73.19	71.11・74.39	71.98・73.77	-		
設定理由	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である健康寿命の延伸を健康づくり施策全般の成果を測る評価指標として設定							
分析(主な取組と成果)								
さらなる健康寿命の延伸に向け、引き続き、食生活や運動といった生活習慣の改善やがんの早期発見・早期治療などに取り組むとともに、こころの健康や将来を担う次世代の健康、高齢化に伴う身体機能の低下を遅らせる取組等が重要となっている。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	健康づくりの推進	施策コード	04071
---------------	-----	----------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	感染症指定医療機関病床数	94	94	94	96	B
	予防接種法に基づく予防接種（麻しん・風疹）の接種率	93	92	92	95	B
	健康寿命（男性・女性）（暦年）	70.03・73.19	71.11・74.39	71.98・73.77	延伸	-
目標（指標）の達成状況	感染症病床は、全ての二次医療圏に配置済み。予防接種率は、地域の感染症まん延防止に寄与する90%以上の接種率を維持。健康寿命は多種多様な要素が関与しており、特定健診受診率の向上、在宅歯科医療の推進、がん検診の受診促進、難病患者への支援など、各般の取組を進め、更なる延伸を目指す。				指標総合判定	B
連携状況	市町村や教育委員会、幼稚園・保育所等と連携し、予防接種の推奨を実施している。また、企業等との連携による生活習慣病予防やがん予防、食生活の改善、受動喫煙防止などに取り組み、幅広い世代へ健康づくりの意識付けが図られている。				連携判定	○
緊急性優先性	R3年度国の施策及び予算に関する提案・要望において、病床確保に係る整備補助金の引き上げや運営費補助の対象拡大、ワクチンの確保について要望している。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	予防接種率の向上に向けた接種勧奨や啓発、関係機関や患者団体、企業等と連携したがん対策などの取組により、目標値に近づきつつあるが、引き続き目標値の達成に向け、国に対する必要な財政措置等の要望を行うとともに更なる取組の推進が必要。				総合判定（一次評価）	概ね順調

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	感染症病床の確保に関しては、毎年整備計画調査を行い、医療機関の意向を随時把握・働きかけを行うとともに、財政措置について引き続き国に要望する。
	②	ライフステージに合わせ関係機関と連携し、予防接種の推奨を引き続き行う。
	③	健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図るため、喫煙率や肥満など健康上の課題対応を継続するとともに、「地域連携クリティカルパス」を活用した医療連携体制の充実を図る。また、がんによる死亡の減少等のため各種取組を総合的に進める。

＜二次政策評価＞

前年度二次評価意見	難病患者等地域支援対策推進事業について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況 (R3.3時点)	新型コロナの影響による事業の延期や中止等が続く中、難病対策地域協議会については、全道域の協議会のリモート開催結果を踏まえて、地域でも開催できるよう努める。
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症病床の確保に関しては、新型コロナウイルス感染症の病床として活用されている状況等を踏まえつつ、医療機関に対し、働きかけを行うとともに、財政措置について引き続き国に要望する。 ・医療機関、市町村等の関係機関との連絡体制整備等により予防接種の推奨を継続する。 ・各種検診の受診促進や企業と連携した健康づくり等の取組により、健康寿命延伸と健康格差の縮小、がんによる死亡の減少を図る。

令和3年度 補助指標調書①	施策名	健康づくりの推進	施策コード	04071
---------------	-----	----------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	%	H28年度	H29年度	H30年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
特定健康診査受診率		目標値	70	70	70	70	63.0%	D
		実績値	40.4	42.1	44.1			
設定理由	受診率向上に向けた普及啓発などメタボリックシンドロームの予防対策に関する取組の成果を測る指標として設定							
分析（主な取組と成果）								
市町村等の各保険者が取組主体であり、道は国保の共同保険者や地域職域連携促進事業の実施主体として促進に関与。各保険者が受診率向上に向けた普及啓発事業を実施しており、徐々に効果が見られるものの、引き続き取組が必要。								

補助指標名②	減少	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
75歳未満がん年齢調整死亡率（男性）		目標値	減少	減少	減少	全国平均値	-	-
		実績値	105.5	99.8	95.9			
設定理由	北海道がん対策推進計画に基づく総合的ながん対策の推進の成果を測る全体目標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
北海道がん対策推進計画に基づき、75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少に向けて、関係機関や患者団体、企業等と連携し、がん検診の受診促進や医療提供体制の整備、患者の相談支援、普及啓発や各種情報提供等に取り組むことにより、各年度の比較において、年齢調整死亡率は減少傾向にあるが、がん検診受診率が低調であるなどにより、目標である全国平均値までには至っていない。								

補助指標名③	減少	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
75歳未満がん年齢調整死亡率（女性）		目標値	減少	減少	減少	全国平均値	-	-
		実績値	66.1	66.1	62.9			
設定理由	北海道がん対策推進計画に基づく総合的ながん対策の推進の成果を測る全体目標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
北海道がん対策推進計画に基づき、75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少に向けて、関係機関や患者団体、企業等と連携し、がん検診の受診促進や医療提供体制の整備、患者の相談支援、普及啓発や各種情報提供等に取り組むことにより、各年度の比較において、年齢調整死亡率は減少傾向にあるが、がん検診受診率が低調であるなどにより、目標である全国平均値までには至っていない。								

補助指標名④	維持	か所	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
在宅歯科医療連携室設置数		目標値	6	6	6	6	100%	A
		実績値	6	6	6			
設定理由	在宅療養者等が歯科診療を受けやすい体制が整備されていることを測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
H30年度に連携室の運営主体を北海道歯科医師会へ移行し、当該運営に対し財政的な支援等を行い、在宅歯科医療を推進。								

補助指標名⑤	増加	圏域	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
脳卒中に関する地域連携クリティカルパス導入二次医療圏域		目標値	21	21	21	21	76%	D
		実績値	15	15	16			
設定理由	脳卒中に関する医療連携体制の充実を測る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
専門医の不足や基幹病院がないことから導入が進まない圏域がある。未導入圏域については、地域の現状を把握しながら、引き続き導入に向けた普及啓発が必要。また、パスの活用を容易にするためにアプリを開発したが、情報伝達が電子化された病院・施設でないと活用できないなど、導入促進に工夫が必要。								

令和3年度 補助指標調書②	施策名	健康づくりの推進	施策コード	04071
---------------	-----	----------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名⑥	増加	人	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
治療と就労の両立ができる職場環境づくりのための企業向け研修会参加数	目標値		延330	延530	延730	延1330	66.3%	D
	実績値		251	406	484			

設定理由 がん患者を雇用する企業の就業環境の整備に係る理解促進を測る指標として設定

分析（主な取組と成果）

令和3年1月20日、「北海道がん患者就労支援研修会」を北海道労働局、北海道産保センター、北海道がんセンターとの共催により開催。新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、オンライン開催とした影響により参加数は減少したものの、道内各地域の企業等から参加を得られたほか、各機関の取り組みなど情報共有が行われたことにより、がん診療連携拠点病院における相談員の資質向上が図られた。

補助指標名⑦			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

補助指標名⑧			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

補助指標名⑨			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

補助指標名⑩			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）